

◆ 人事交流

《大学教員と小規模病院等の看護師の人事交流の実施》

【実績】 今年度は6つの病院とで人事交流事業を実施した。内訳は「大学から病院へ」が1病院、「病院から大学へ」が6病院であった。

「大学から病院へ」は5日間の日程で教員1名を派遣した。「病院から大学へ」は3日間の日程を7コース組み立て、7コースから1ないし複数のコースを選択することができる交流計画を立てた。その結果、6病院の看護師6名が延べ45日間の交流研修となった。

【成果】 「大学から病院へ」の交流研修では、母性の分野を中心に小規模病院での実情を体験でき、地域で求められている病院の在り方、少人数であるからこそ求められている多彩で、協働する職種が多く、看護師としての判断が求められている状況が理解できたとの感想であった。

「病院から大学へ」の交流研修は、今年度は大学への日程を7コース組み立て、複数回交流できるようにしたところ、研修日数が増え、前年度からの課題であった研修人数の増加を図ることができた。又、1つのコースに複数名が参加できたことにより、小規模病院の看護師同士の交流もでき繋がりが拡大した。

【実施上のポイント】

- ・ 1回の派遣期間を3日間と短くすることで派遣しやすくするとともに、派遣者の要望に応じた講義・演習、実習見学を組み合わせることが出来るよう、短期間（3日間）の異なる内容のコースをいくつか設け、コースを複数選択できることとした。
- ・ 学生への実習指導の様子を知り、自施設での実習がイメージしやすくするため、実習見学をコースに組み入れた。
- ・ 小規模病院の看護師同士が交流できるように、1つのコースに複数名が参加できるように組み立てた。